

社会資本総合整備計画

小田原城城下町地区における街なみ環境の向上 Ⅱ期

おたわらし
小田原市

平成31年1月(第1回変更)

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年02月01日

計画の名称	小田原城下町地区における街なみ環境の向上 II期							重点配分対象の該当					
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)												
交付対象	小田原市												
計画の目標	歴史的なまちなみとそれを結ぶルートを整備するなど、歴史文化やなりわいを感じられ、ホスピタリティあふれる街なみを形成し、地区を安心して訪れ、集い、憩い、交流する人々の姿が活き活きと映える、賑わいあるまちを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,032	A	1,018	B	0	C	14	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.35	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	事業地区内における修景整備件数を18件(H28)から38件(H32末)に増加 修景整備件数 事業地区内における建築物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。	18件	件	38件
2	観光交流の拠点に位置付けている清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数を54,777人/年から56,748人/年に増加 利用者数 清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数の合計値	54777人/年	人/年	56748人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	H32			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	小田原城下町地区 街 なみ環境整備事業	小公園・広場・緑地等整備、 通路整備、案内板等整備、測 量・調査設計、歴史的風致形 成建造物整備	小田原市	■	■	■	■	■	974	-	
	A16-002	住宅	一般	小田原市	間接	民間	-	-	小田原城下町地区 街 なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備助 成、建築物等修景整備助成	小田原市	■	■	■	■	■	44	-	
											小計						1,018		
										合計							1,018		

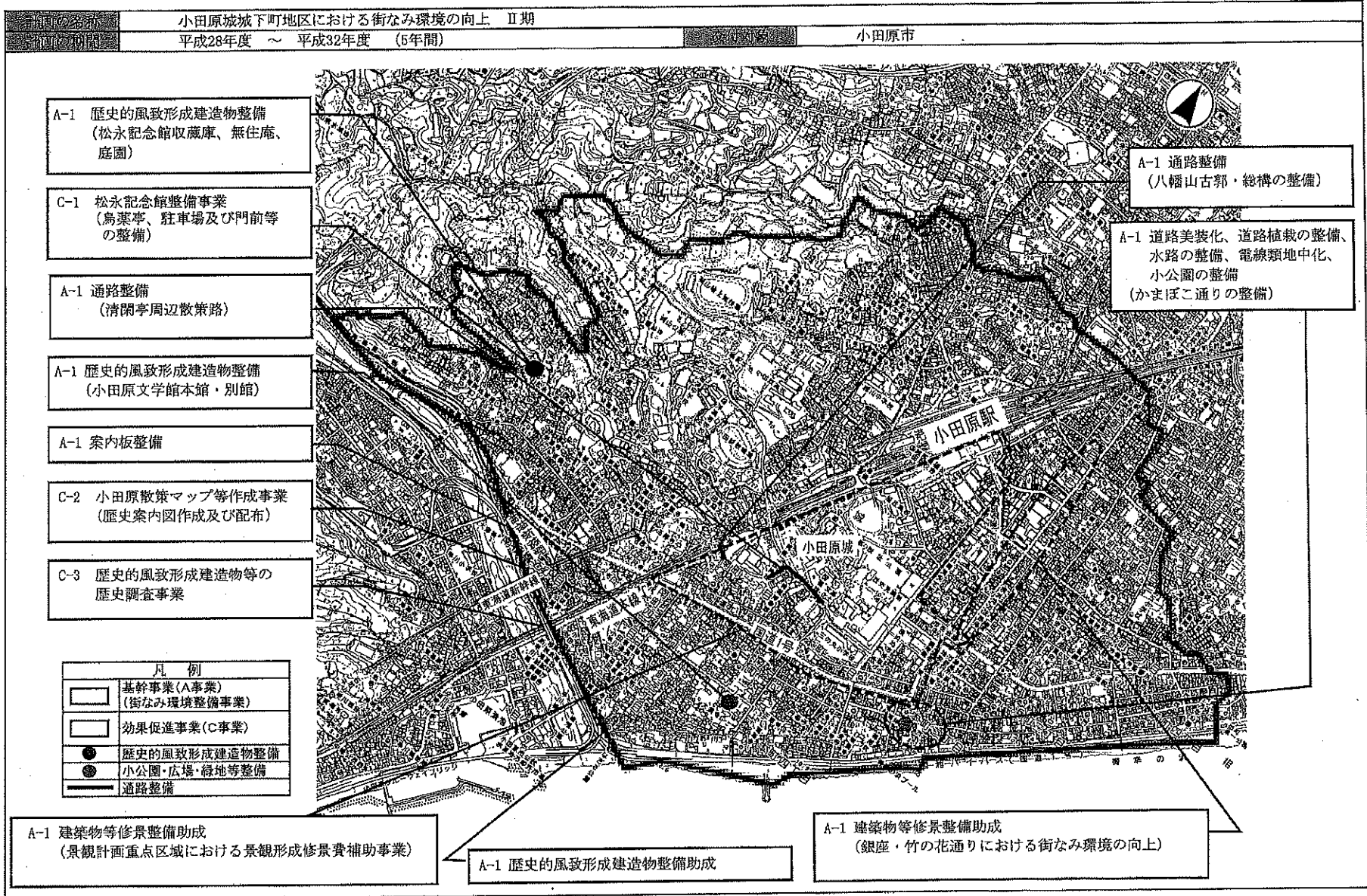
C 効果促進事業																						
基幹事業 (大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H28	H29	H30	H31	H32						
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	松永記念館整備事業	烏薬亭の整備	小田原市					■	0	-				
												一体的に実施することにより期待される効果 備考										
	C16-002	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	松永記念館整備事業	駐車場及び門前等の整備	小田原市					■	■	13	-			
												施設と一体的に歴史的風致を形成している烏薬亭の整備を実施することにより、利便性を高め、施設全体の魅力を高める。										
	C16-003	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	小田原散策マップ等作成 事業	歴史案内図作成及び配布	小田原市					■		1	-			
												散策パンフレットによる情報提供や回遊ルートの設定により、小田原城下に点在する歴史的資源を市民や来訪者に発信し、回遊性の向上を図る。										
																			小計	14		
																				合計	14	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	R1	R2
配分類 (a)	7	59	32	57	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	7	59	32	57	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	1	
支払済額 (e)	7	59	31	50	
翌年度繰越額 (f)	0	0	1	8	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合 その理由	-	-	-	-	

参考図面（社会資本整備総合交付金）



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 小田原城下町地区における街なみ環境の向上 II期
 事業主体名: 小田原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合が確保されている。	
1)小田原市総合計画、都市計画マスタープラン等に適合している。	○
②歴史的風致維持向上計画との整合性が確保されている	
1) 歴史的風致維持向上計画の重点区域の一部もしくは全部を含む区域である	○
③地域の課題への対応	
1) 地域の課題や特性を踏まえた目標設定となっている。	○
2) 目標は、達成の必要性が高いものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 整備計画の目標と定量的指標(数値目標)の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標が明瞭なものとなっている。	○
3) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
4) 関連事業を効果的に組み合わせている。	○
④事業の効果	
1) 事業連携等による相乗効果・波及効果が見込まれるものとなっている。	○
2) 効率的な事業推進が図られる事業構成となっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1) 計画について住民等との合意形成ができている。	○
2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
⑥地元の熱意	
1) 事業推進に向けた地域の機運が醸成されている。	○
2) 継続的な事業の展開が見込める。	○

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月25日

計画の名称	小田原城下町地区における街なみ環境の向上 II期 (期間延長)												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和03年度 (1年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	小田原市												
計画の目標	歴史的なまちなみとそれを結ぶルートを整備するなど、歴史文化やなりわいが感じられ、ホスピタリティあふれる街なみを形成し、地区を安心して訪れ、集い、憩い、交流する人々の姿が活き活きと映える、賑わいあるまちを目指す。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	22	A	21	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	4.54	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	事業地区内における修景整備件数を18件 (H28) から38件 (R3末) に増加 修景整備件数 事業地区内における建築物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。	H28 18件	件	R3 38件
2	観光交流の拠点に位置付けている清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数を54,777人/年から56,748人/年に増加 利用者数 清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数の合計値	54777人/年	人/年	56748人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	小田原市	直接	市	—	—	小田原城下町地区 街 なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備(測量・調査)、案内板等整備	小田原市	■					16	—	
	A16-002	住宅	一般	小田原市	間接	民間	—	—	小田原城下町地区 街 なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備助成、建築物等修景整備助成	小田原市	■					5	—	
												小計						21	
											合計							21	

C 効果促進事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							R03	R04	R05	R06	R07				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	-	小田原散策マップ等作成 事業	歴史案内図作成及び配布	小田原市	■					1		-	
		散策パンフレットによる情報提供や回遊ルートの設定により、小田原城下に点在する歴史的資源を市民や来訪者に発信し、回遊性が向上する。																		
											小計						1			
											合計						1			

参考図面 (社会資本整備総合交付金)



事前評価チェックシート

計画の名称： 小田原城城下町地区における街なみ環境の向上 II期（期間延長）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 1) 小田原市総合計画、都市計画マスタープラン等に適合している。	○
I. 目標の妥当性 ②歴史的風致維持向上計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 1) 歴史的風致維持向上計画の重点区域の一部もしくは全部を含む区域である。	○
I. 目標の妥当性 ③地域の課題への対応	○
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題や特性を踏まえた目標設定となっている。	○
I. 目標の妥当性 2) 目標は、達成の必要性が高いものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①目標と事業内容の整合性等	○
II. 計画の効果・効率性 1) 整備計画の目標と定量的指標（数値目標）の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標が明瞭なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 関連事業を効果的に組み合わせている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②事業の効果	○
II. 計画の効果・効率性 1) 事業連携等による相乗効果・波及効果が見込まれるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 効率的な事業推進が図られる事業構成となっている。	○

